

日本遺産のまち 益田市

ますだ歴史探検

ちゅうせい にほんの けっさく ますだを 味わう
中世日本の傑作益田を味わう

ちほうの 時代に 輝き 再び
— 地方の時代に輝き再び —



にほんいさん 日本遺産とは

「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、地域の歴史的^{ちいき}魅力^{みりょく}や特色を通じて日本の文化や伝統を語るストーリーを、「日本遺産」として文化庁が認定^{ちやう}するものです。

日本各地には歴史ある建物や伝統的なお祭りなど、ストーリーを語るための魅力あふれるさまざまな文化財があります。これらを、地域が中心となって整備・活用し、その魅力を国内や海外に発信することで、地域を活性化していくことを目的としています。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

ますだ がいよう 益田市日本遺産ストーリー概要

島根県の益田は、今から約 400～800 年前の中世と呼ばれる時代に、大きな輝きを放っていました。

人々は、中国や朝鮮半島に近い地理と、材木などの資源^{しげん}を活かして、日本海で交易をしていました。また、益田を治めていた益田氏は、交易にも深く関わりつつ、優れた政治能力^{すく}で益田を平和に導きました。こうして経済^{けいざい}が栄え、政治も安定していた益田では、東アジアの影響^{えいさう}も受け、独自の文化^{いせき}が開花しました。

現在の益田には、その歴史を物語る遺跡^{いせき}や景観、寺社や仏像など多くの素晴らしい文化財が残されています。

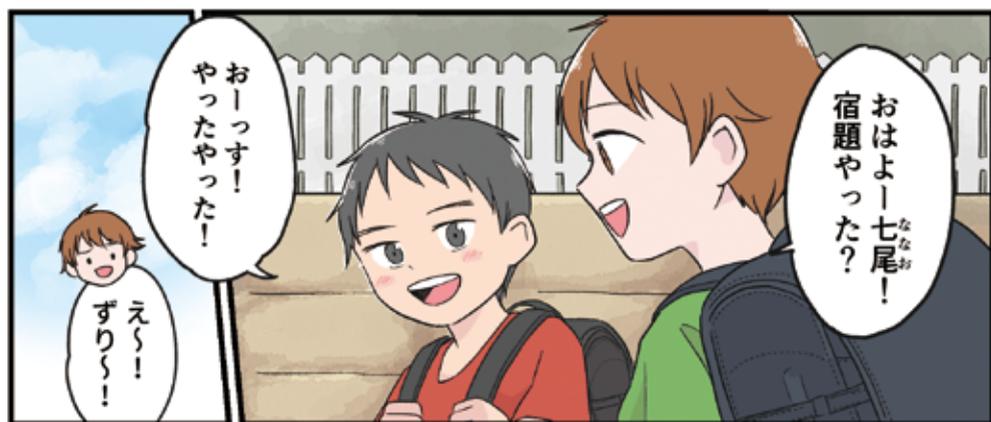
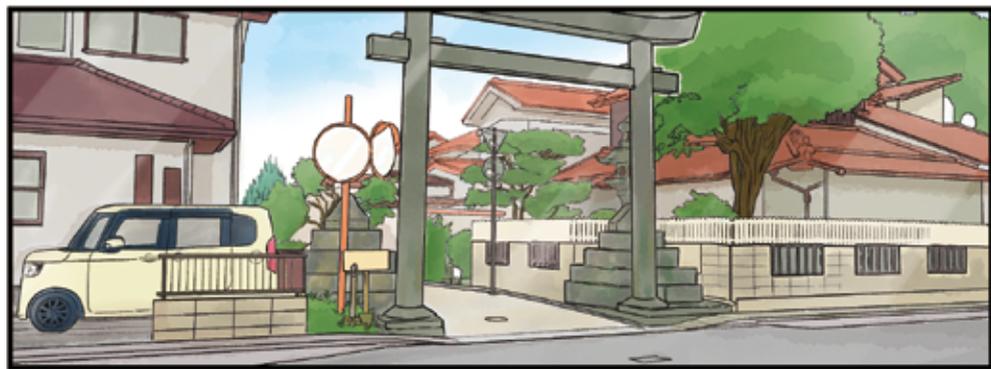
時代と地域の特性を活かして輝いた益田は、中世日本の傑作^{けつさく}と言え、全国^{めづら}でも珍しい中世日本を味わうことのできるまちです。

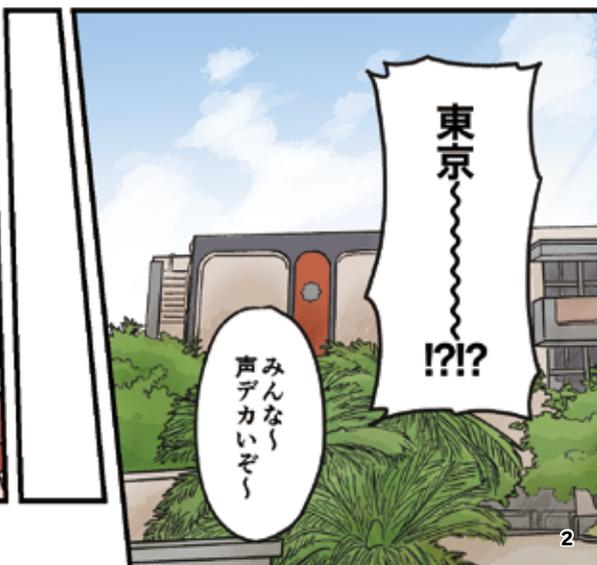
参考

益田市日本遺産公式ポータルサイト (<https://masuda-rekitabi.com>)



QR

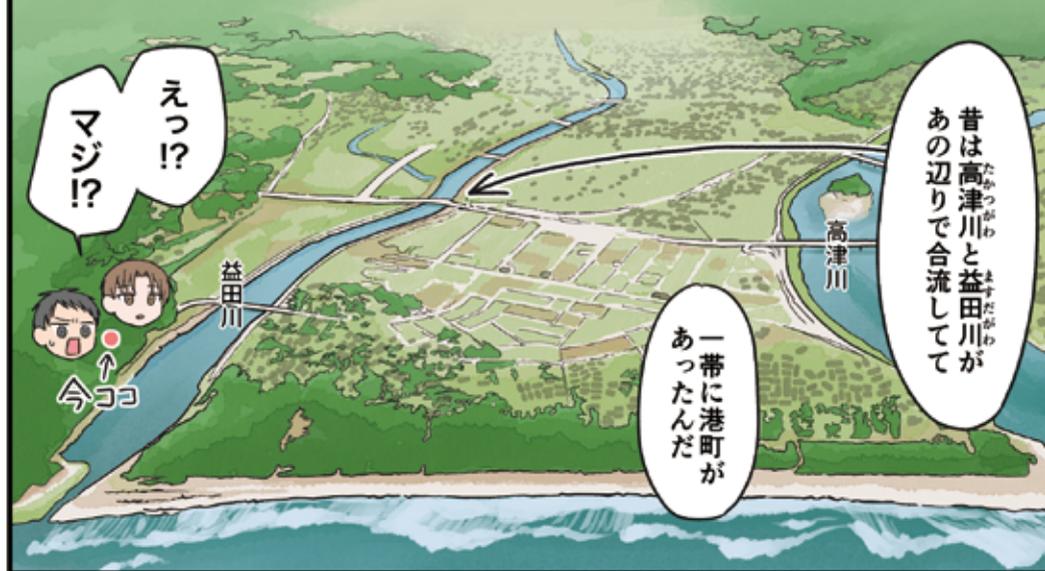














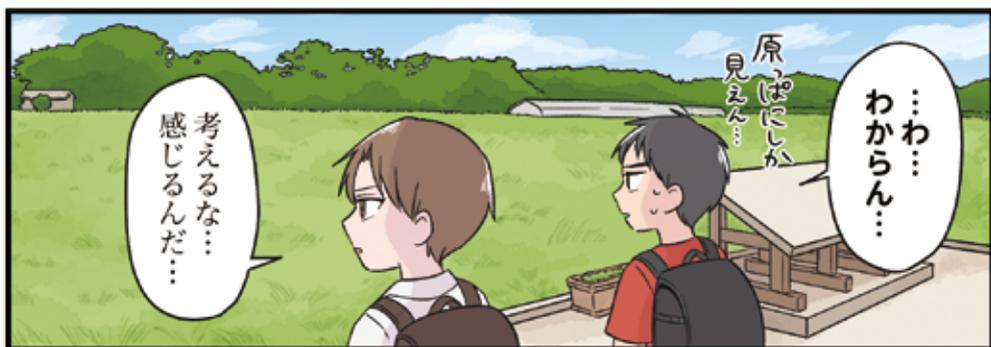
このあたりは昔
港町だったんです

え!?
うそお!?

どの
あたりか!?

なんでそんなこと
わかったんですか?

船着場や町の跡や
中国・東南アジアの
陶磁器が
見つかったんですよ



近くにある
このお寺は
福王寺です

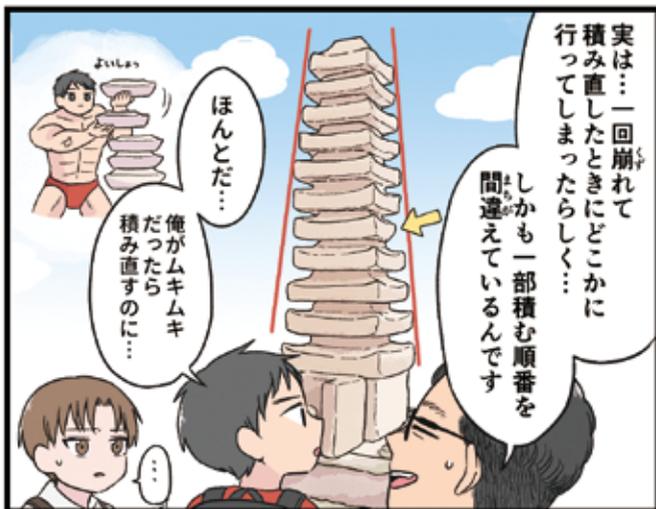
昔は交易の
知識を持った
お坊さんがいて

交易に深く
関わっていたと
考えられています

交易って商売…?
お坊さんって商売とか
するんですか?

意外な
イメージかも
しれないですね

ハイ
らしい





中世ってどんな時代？

日本の歴史はおおまかに、原始・古代・中世・近世・近代・現代に分けられます。そのうち中世は平安時代後期から戦国時代または安土桃山時代までの時代をいいます。ちょうど益田を益田氏という一族が治めていた時期にあたります。

古代	中世 (1086年~1600年)			近世	近代
飛鳥時代 奈良時代 平安時代	鎌倉時代 <small>南北朝時代</small>	室町時代 <small>戦国時代</small>	安土桃山時代	江戸時代	明治時代

中世は武士たちや神社、お寺の人々も力をもつようになった時代でした。そのため、日本各地に力をもった人々が登場し、時には戦いが起こることもありました。逆に、各地にそれぞれの生活や芸術・文化が生まれ、また地域間で人々の交流が盛んになった、という良い面もあります。



茶道



能

益田もそのような地域の一つです。中世に益田氏が登場したことで、海を介して中国や朝鮮半島に近い益田は国内外との貿易などで発展していきました。



中国大陸



こんにちは！
日本遺産を回って
るんですか？

あ
はい…！

お若いのに
感心ですね

益田観光ガイド友の会
会長 岩本節雄



次は益田氏
ゆかりの場所に
行くこう

益田氏…って
中世の偉い人
だっけ？



益田氏は優れた
政治手腕を發揮して
益田の平和を
維持していた人です

ここ
三宅御土居跡は
その益田氏の
館の跡地で…



東西に高さ5mの
土塁が
あって
周りに堀があり

同じくらいの勢力の
領主と比べてもかなり
大きかったんですよ

へえー！

すごいな
益田さん

ほ





益田氏はどんな人たち？

平安時代後期、石見国（今の島根県石見地方）の地方役人、いわゆる「国司」を任された藤原国兼が益田氏のはじまりと言われています。4代目の藤原兼高の代に益田に移り住み、益田を名字としました。

大内氏や毛利氏など強い力をもった大名が周りにいましたが、益田を守り、治め、豊かにしていきましました。



× 16世紀頃 ×



× 益田兼見 ×

南北朝の内乱を生き抜き益田を安定させたのは11代の益田兼見でした。また、15代の益田兼堯は水墨画で有名な雪舟を益田に招くなど、益田に室町文化を花開かせました。19代の益田藤兼は、戦国大名毛利氏との戦いを回避するなど、代々の益田氏の努力によって中世の益田は発展していったのです。



× 雪舟 ×

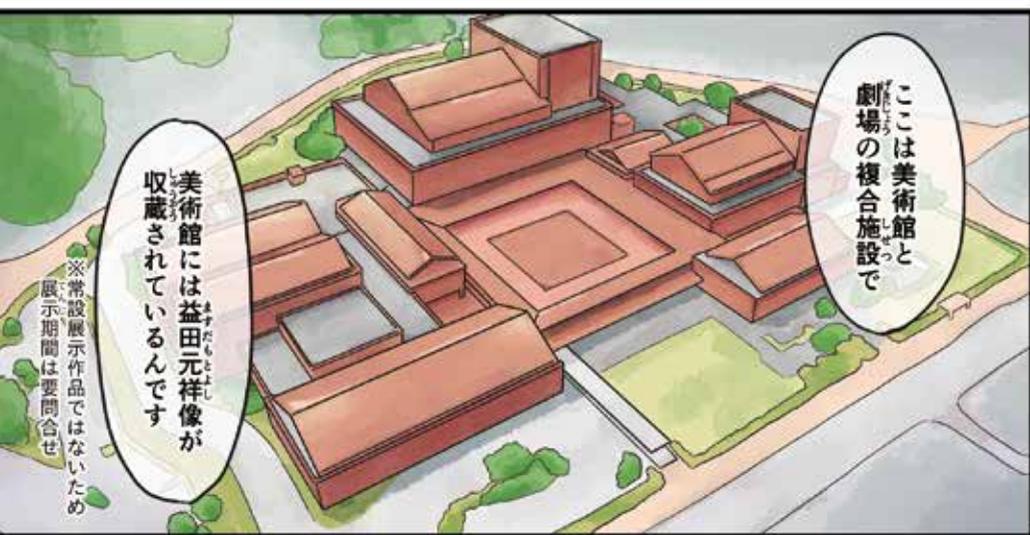














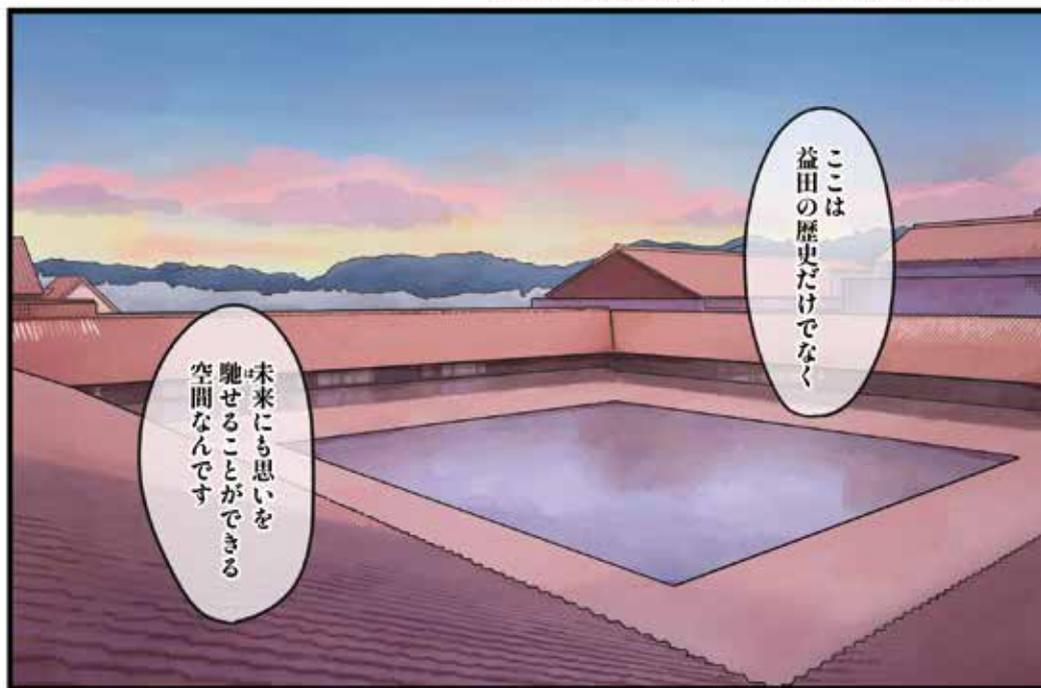
この中庭に水盤を
作られたそうですよ

ここを設計した
内藤廣さんは

「益田氏がなくなった後の
約400年の時間を想起させる
ような場所」になるようにと

建築家
内藤 廣

『形態デザイン講義』(内藤廣)p.186『失われた時という時間の翻訳』より



ここは
益田の歴史だけでなく

味来にも思いを
馳せることができる
空間なんです



確かに…
普段とは違う
時間が流れている
感じがしますね

うん…
なんかそれは
わかる気がする

益田氏が大事にしていた お寺・神社ってどんなところ？

益田氏は代々、お寺や神社を大切にしてきました。
まんぶくじ 萬福寺は、11代のますだかねみ 益田兼見が1374年に創建しました。その時の建物が、ほとんど姿を変えず、現在も建っています。

いこうじ 医光寺は、益田氏や室町幕府が大切にすうかんじ した崇観寺というお寺がおとろえた（おそらく火災にあった）後、そのかわりに大切にされました。15代のますだかねたか 益田兼堯の時に、せつしゅう 雪舟が益田に招かれ、萬福寺と崇観寺にていえん 庭園を築きました。みょうぎじ 妙義寺は、19代のますだふじかね 益田藤兼が特に大切に、その支えで大きく栄えました。



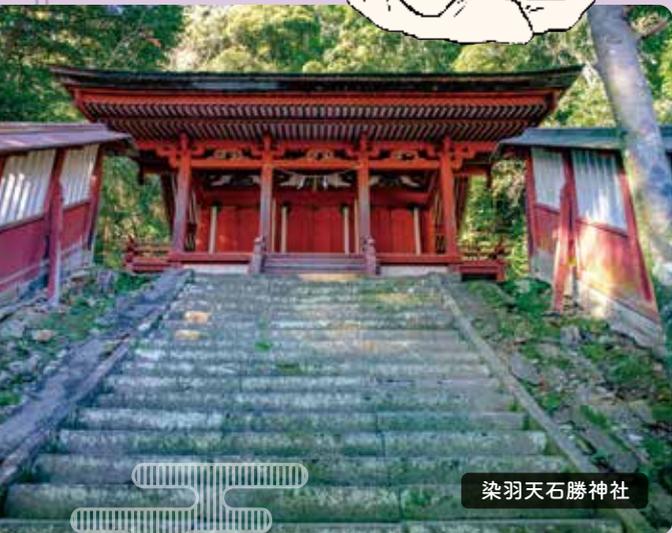
妙義寺

× 益田兼堯 ×



そめ はあめのいわかつしんじゃ 染羽天石勝神社も代々益田氏から大事にされてきました。火事で神社が焼けてしまった時も、20代のますだもとよし 益田元祥が1583年に建て直しました。

そのほかに、たいきあん 大喜庵やくしろかひめじんじゃ 櫛代賀姫神社など益田には益田氏と関わりのあるお寺や神社が色々あります。



染羽天石勝神社













どうしてこんなまちなみが残っているの？

今も益田には中世の時代の名残をとどめる地形や変わらない道、地名などが残されています。これは、日本全国を見てもとても珍しいことです。

1600年、日本中が東軍と西軍に分かれて戦った「関ヶ原の戦い」がありました。この時、益田氏は西軍側の毛利氏に仕えていました。毛利氏が負けてしまい、土地を現在の山口県だけに減らされたため、益田氏も益田を離れ、須佐（今の山口県萩市）に移り住むことになりました。最後のお殿様の益田元祥がいなくなった益田は、江戸時代の城下町がつくられず、中世のままの町並みが残りました。



『石州益田絵図』（山口県文書館所蔵）



その後の益田氏も、昔の土地をなつかしんで、ゆかりのお寺や神社を大切に引き続きまし
たし、益田に残った元
家来の右田宗味も造り
酒屋や市場をはじめ、
町がおとろえないよう
にしています。



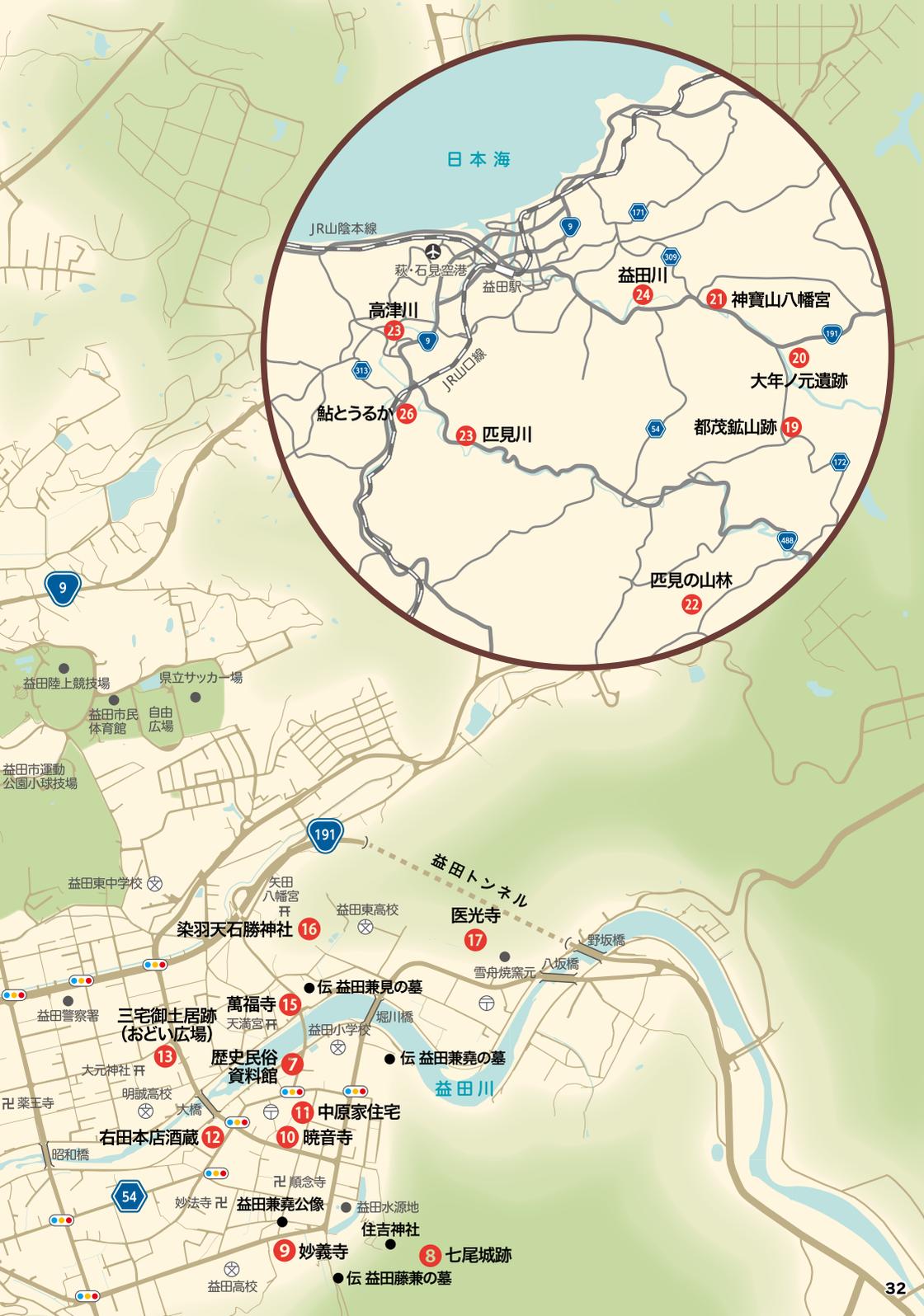
中世の食をアレンジした「サムライ弁当」

古文書をもとに再現した中世の食で
まちおこしに取り組んでいます。

構成文化財一覧 (こうせいぶんかざいいちらん)

1		くしろ かひめじんじや 檜代賀姫神社
2		ふくおうじ 福王寺
3		なかざりはらい せき 中須東原遺跡
4		ちゆうせいまいち い せき 中世今市遺跡
5		たいきあん 大喜庵
6		しほんちやく(し)くすだ かねたかぞう 紙本著色益田兼莖像 (雪舟の郷記念館)
7		ますだ しりつれきし しみんぞくしりゆかん 益田市立歴史民俗資料館 (旧美濃郡役所)
8		ななおしあと すみよしじんじや 七尾城跡 / 住吉神社
9		みづやま 妙義寺
10		きゆうなが 暁音寺
11		なかはら けいじたく 中原家住宅
12		みやたほんてんさかぐら 右田本店酒蔵
13		みやけおと い あと 三宅御土居跡

14		せんこう じ 泉光寺
15		みつおくじ 萬福寺
16		そめ はあひのいわかつじんじや 染羽天石勝神社
17		い こう じ 医光寺
18		けんぼんちやく(し)くすだ もとよしぞう 絹本著色益田元祥像 しまねけいりついわみ びじやかん (島根県立石見美術館)
19		つ も こうざんあと 都茂鉦山跡
20		おとし もとい せき 大年ノ元遺跡
21		しんぼうざんはちまんぐう 神寶山八幡宮
22		ひめ さんりん 匹見の山林
23		たかつがわ ひめがわ 高津川と匹見川
24		ますだがわ 益田川
25		くぼらさかば 桑原酒場
26		あゆ 鮎とうるか



日本海

JR山陰本線

秋・石見空港

益田駅

益田川

高津川

21 神寶山八幡宮

20 大年ノ元遺跡

23 鮎とるか

23 匹見川

19 都茂鉱山跡

匹見の山林

益田陸上競技場

県立サッカー場

益田市民体育館

自由広場

益田市運動公園
公園小球技場

益田東中学校

矢田八幡宮

益田東高校

益田トンネル

医光寺

16 染羽天石勝神社

野坂橋

雪舟焼窯元

八坂橋

益田警察署

13 三宅御土居跡
(おどい広場)

15 萬福寺

● 伝 益田兼見の墓

大元神社

天満宮

益田小学校

堀川橋

● 伝 益田兼義の墓

明誠高校

7 歴史民俗資料館

11 中原家住宅

12 右田本店酒蔵

10 暁音寺

昭和橋

妙法寺

益田兼義公像

● 益田水源地

住吉神社

益田高校

9 妙義寺

8 七尾城跡

● 伝 益田藤兼の墓



1 御代賀姫神社

2 福王寺

3 中須東原遺跡

中須西原遺跡

333

専光寺 卍

鴨島大橋

五福寺橋

JR山陰本線

高津大橋

大元神社 卍

大元橋

大元神社 卍

高津川

桑原酒場

4 中世今市遺跡

四塚山古墳群 (下本郷)

5 大喜庵

● 雪舟の墓

● 小丸山古墳

JR山陰本線

25

吉田小学校

益田新大橋

6 雪舟の郷記念館

191

西福寺 卍

あけぼの橋

雪舟橋

191

高角橋

JR山口線

辻の宮 卍
八幡宮

駅前交番

ますだ

益田消防署

14 泉光寺

9

益田中学校

市民学習センター

益田市役所

市立図書館

18

島根県立石見美術館 (グラントフ内)

卍 延命寺

卍 興順寺

卍 水分神社

津村橋

石見高等看護学院



ほんとうに知ってる？益田の町のこと

益田市に住む七尾は都会にあこがれる小学生。

そんな七尾の学校に東京から転校生・景がやってきた。

益田をつまらない町だという七尾に、景は自分の方が益田について知っていると言ってしまう。

そこで、二人は益田のことを知るため、景の案内で益田の町を探検することに…

全国でもめずらしい益田の歴史と文化を、二人といっしょに見つけよう！



発行者

益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会
事務局：一般社団法人 益田市観光協会

まんが

小日向えびこ

編集/印刷

ナカシャクリエイテブ株式会社



令和4年度文化庁文化資源活用事業費補助金
(観光拠点整備事業)

